



神林地区の まちづくり

第11号
2020.3 発行

特集：地域に寄り添い、地域と一緒に考える
～集落支援員 阿部久美子さんに密着～

集落支援員として 阿部久美子さんの1週間 …… 2～5

特集：関係人口創出・拡大事業

お母さんの知恵袋プロジェクト ワークショップ開催 …… 6～7

特集：小・中学校統合に関わる事業

小学校開校記念事業 神林中学校開校記念事業 …… 8～10

- イルミネーション・ライトアップ …… 11
- 各地区、地域の防災の取り組み …… 12～13
- 各地区、地域の特色ある活動 …… 14～15
- まちづくりベストショット「スマイル」 …… 16

平林・砂山
神納・神納東・西神納

まちづくり協議会

事務局：神林支所 地域振興課 自治振興室
〒959-3492 新潟県村上市岩船駅前56番地
TEL：0254-66 6122 FAX：0254-66 6110

テーマは「スマイル」！ Best Show!!

まちづくり

まちづくり協議会のイベント開催時に撮られた「まちづくりベストショット」みなさんは、どの「スマイル」がお好みですか？



fm01 栗田山登山
3月17日、平林小学校と鶴鹿の団体が協力して開催している栗田山登山。山頂について、お弁当を食べた後一息ついたところで始まったクイズ。進行は平林城跡保存会の武智秀哉さん。児童に向かって、「クイズ始めるぞお～」と。



fm02 平林祭典羽祭
4月16日、平林集落で平林祭典開催が予定されました。日中は、子ども神輿が行われ、子どもたちの元気な声が集落内に響き渡ります。出陣前に準備中の集合写真。「スマイル」を合言葉に撮影中。「おあ～い」「おあ～い」



fm03 遠谷大祭
9月20日は遠谷集落が一っにも、遠谷大祭。子ども神輿は、信濃神社を出発して集落内を歩いて回ります。出発前にカメラを向けてみました。「やっぱり、重いな～！」



fm04 市川町民会
遠坂がこし力隊の山崎さんを呼んで、紙飛行機大会を開催！子供たちがこの日のために作った紙の飛行機を飛ばし、盛り上がる様子。行事を盛り上げた集落の方へピットアップ！集落全体で盛り上がりお楽しみでした。



fm04 砂山地域合同防災訓練研修
砂山小学校の多目的ホールで、砂山地域6集落合同で、カード遊ゲーム「防災ゲームクロスロード」を実施。避難所で起きる様々な想定に頭をひねりながら考えに考えて、もちろん皆笑顔でした。



fm05 殿岡灯籠流し
平成24年に50年ぶりに復活した「灯籠流し」。8月15日の夕方、各自がこの日のために思いを込めて作った灯籠を持って、石川沿いに集まります。流す時の灯籠を持ちながら、カメラに向かって「にっこりスマイル」を、おたのしみでした！



fm09 やまゆり祭、やまゆりの里盆踊り
盆歌で音楽を担当している子どもたち。神楽の舞に力が入る向こうも、二人とも満面の笑みでカメラに向かってピースサイン。この後、祭りの盛り上げ役として、福島の舞台を演じていました。



fm07 西神納ふるさと夏祭り
今年のゲストにパフォーマンスのピースさん。マジックの体験コーナーでは、来場した児童が体験。容器中の液体の色が変わるマジックを披露して、会場からは「オー」の歓声が、体験した本人も「ビックリ」の笑顔でした。将来の夢は「マジシャン」に決定！



fm08 若狭ふるさと市
今年度で閉校となる神林小学校を会場に開催した神納ふるさと市。ラッキーくじの1等を当てたのは、小出集落の近藤日笑（ことぶき）さん。まさかの一等に本人もビックリ！一等を持って、お楽しみすると、嬉しい笑顔。「スマイル」でした！



fm10 西神納三休体育祭
運動会の人気イベント「パン食い競争」での一コマ。「無事」に取れまして、ホッと一息のところでもカメラを向けてみました。「パンが取れて良かった～！」ってことで、安堵のピース！

砂山地域
集落支援員

(あべくみこ)

阿部久美子さん

塩谷集落出身。県外の専門学校を卒業後、美容師として勤務。23歳の時にUターンし、地元で美容師を続ける。平成23年、「塩谷集地（しおやべース）」を立ち上げ、塩谷集落の魅力を発信に取り組み。同年7月、めでたやOPEN時から勤務し、地域の買い物支援に取り組む。平成30年4月からは砂山地域集落支援員として活躍中。

「集落支援員」として

平成30年4月から砂山地域の集落支援員として、日々、手取り次第の中で活動しています。「塩谷の茶の間」の仕入れ販売の他に「塩谷の茶の間」の買い出し、移動販売車を利用する方の補助などを行っています。砂山地域は約400戸の世帯があり、そのうち約100戸の集落で構成されていますが、若い人が多く暮らしている新興住宅地が中心の集落として知られており、住んでいる方の年齢層に差があるのです。この集落の課題は、高齢者の増加による買い物難民の発生です。また、農業関係の状況が厳しいため、その課題を解決するために、集落の課題を話し合う場を設け、新たな集落を見出し、新たな集落を創出していくことが、集落の課題解決につながります。また、高齢者の増加による買い物難民の発生を解消するために、新たな集落を見出し、新たな集落を創出していくことが、集落の課題解決につながります。



地域の方が、歩いて買い物に来れるような場所があればいいので」と、という思いから、横山商店に協力いただき、「塩谷の茶の間」は始まりました。

週2日（火・金）のみ営業。塩谷集落にある味噌醤油屋3軒、干し魚加工2軒、近隣で収穫した野菜やお米も販売しています。また、生活用品、お菓子なども並んでいます。

天候や体調を気にせず、気軽にお買い物していただけるよう、塩谷集落内は無料で配達しています。もちろん、砂山地域の集落も場所を教えてくださいれば配達します。

買い物についての世間話で、生活する上での困りごとや、行政で対応できることがあれば、それぞれの担当窓口への橋渡しをしています。

行われている「塩谷の茶の間」に参加して活動のお手伝いをしています。

「塩谷の茶の間」ってどんなところ？

皆 さんは、集落支援員という言葉を知ったことがありますか？

村上市と連携して集落の維持、活性化や地域の課題解決に向けた取り組みを推進するために市から委嘱され、活動しています。村上市では平成20年度から導入された制度で、荒川地区金屋地域に1名と、神林地区では平成30年4月から砂山地域で活動している阿部久美子さんの計2名がいます。

現在、阿部さんは塩谷集落にある「塩谷の茶の間」で買い物支援を担当しています。

また、お店が休みの日は塩谷集落で

特集
地域に寄り添い
地域と一緒に考える

集落支援員 阿部久美子さんに密着

砂山地域には、地域のために買い物支援などを担当している集落支援員がいます。今回は、生まれ育った大好きなふるさとにUターンして、集落支援員として活躍している阿部久美子さんをご紹介します。

水曜日

「めでたや」がお休みの日は、地域、学校や支所で行われている活動、会議に参加しています。



9:00 ● 出勤

翌日に仕入れる品物の一覧や、支援員だよりを作成します。



10:00 ● 塩谷の茶の間訪問

塩谷集落での塩谷の茶の間に参加して、地域の活動のお手伝いをしています。



11:30 ● 買い物の支援・昼食

塩谷集落の集会場に移動販売車が来るので、そこで買い物を楽しむ方の支援をします。終了後、昼食を取ります。



13:00 ● 地域、学校との打ち合わせなど

袖林支所での会議、小学校での打ち合わせや個別に依頼のあった品物の買い出しなどを行います。



17:00 ● 帰宅



ここでは、集落支援員がどのような仕事をしているかをご紹介します。

月・木曜日

週に2回仕入れに行きます。多いときは、1日に7、8件のお店を回ることもあります。



8:00 ● 出勤

袖林支所で買い出し時に使用する車に乗り換え、仕入れ先へ向かいます。



9:00 ● 仕入れ

塩谷大祭前は一年で最も多い品物を仕入れれます。



12:00 ● 昼食

購入した品物を積んで、「めでたや」へ到着。品物を置いてから、自宅に戻り昼食を食べます。



13:00 ● 開店準備・支援員だより作成

午後からは値札付けや、販売用に合わせて品物の包装を行います。終了後、支援員だよりを作成します。



17:00 ● 帰宅



火・金曜日

「めでたや」は週に2回、開店します。店内は、お客様の手で活気づきます。



8:10 ● 出勤

朝に仕入れた品物の確認、陳列を行い開店に向けて準備をします。



9:00 ● 開店

開店を心待ちにしていた方など、多数の方が来店されます。



12:00 ● 接客・昼食

電話で注文があった方のお宅への配達、荷物の配送を希望された方の手配なども行います。



17:00 ● 閉店

次回仕入れる品物の一覧の作成や、一日の売上金額を確認します。



17:10 ● 帰宅



ぎよぎよかいめでたや

〒959-3441 村上市塩谷 1181 番地
TEL・告知端末 62-7273
FAX 62-7263
営業日 毎週火曜日、金曜日
営業時間 午前9時～午後5時

「仕事の内容は一言でいえば、「行政(市)」と「市民」(地域の働き手)の橋渡し役だと考えて下さい。各集落には区長がおられます。集落支援員はその区長のサポート役でもあり、またある時は各集落の宣伝部長でもあります。私たちが行かなければなりません。その為にも区長をはじめ集落の方々と集落支援員さんが手を携えて進んでいくことがとても大切です。これからはなによりも、お互いに情報を共有しながら、地域が支援員を育て共に成長して行くような地域まちづくりが求められているのではないのでしょうか。」



砂山地域まちづくり協議会会長 塩谷地区区長 瀨賀 秀雄 さん

「集落支援員」、なかなか聞き慣れない名称かもしれませんが、村上市が平成29年度から取り組んでいる事業のひとつで、市内の荒川地区と袖林地区の2地区でそれぞれ1名の方が活動されています。現在、集落支援員として任命されている方は、全国で約1,400名ほどで、新潟県内でも14の市と町で82名という少数精鋭部隊です。その村上市で2名のうちの1名が「阿部久美子さん」、塩谷集落在住で砂山地域担当の集落支援員さんです。

地域のみんなで育てよう

集落支援員「阿部久美子さん」の1週間



オリエンテーション

開催日：10月14日(月)
会場：神林農村環境改善センター

この事業は、冊子づくりを通して地域のお母さん方と、参加者の関係性を育むことを狙いとして実施し、市外の方4名が参加しました。

最初に、企画を担当した「にいがたイナカレッジ」の方から農作業体験のスケジュールなどの説明がありました。

午後からは、とれたて野菜かみはやし(株)の川崎澄子さんをお招きし、会社を立ち上げた経緯を説明していただきました。

参加者は、将来のため、また農業に従事するきっかけ作りのために参加したなどと話し、今後の生産者との触れ合う機会を楽しみにしていました。



体験取材2回目

開催日：11月9日(土)、10日(日)

会場：神林地内

初日は飯岡集落の小田より子さんと新飯田集落の竹内幸恵さんにご協力いただき、午前は農作業体験、午後はお母さん方から郷土料理を習いました。慣れない手つきではありましたが、全員で里芋や、やわ肌ねぎの皮むきを行い、調理をして、夕食にごちそうになりました。

終始「笑顔」と「笑い」が絶えず、とても良い交流となりました。

二日目は北新保集落の川崎順子さん、前回の体験取材時にお世話になった小口川集落の竹内イミさんにご協力をいただきました。短い時間ではありましたが、農作業を通じて交流をすることができました。



体験取材1回目

開催日：10月19日(土)、20日(日)

会場：神林地内

初日は、小口川集落の竹内イミさん、新飯田集落の竹内朝美さんと仲山良子さんにご協力いただき、行者ニンニクの種まき体験を行いました。昼食をいただき、午後からは、ニンニクの皮むき作業などを体験しました。

夜は、かみはやしいきいきセンターに宿泊。夕飯は新米の岩船産コシヒカリと地域おこし協力隊の臥牛山隊員のちゃんこ鍋をいただきながら、親睦を深めました。

二日目は、北新保集落の小田美千子さん、桃川集落の板垣みよ子さんにご協力をいただき、野菜の収穫作業等を体験しました。

参加者は、「農家の方の笑顔を絶やさない姿に、元気をもらった。農作業を通じて、温かさや魅力を肌で感じた。」と話していました。



冊子完成報告会

開催日：1月11日(土)

会場：神林農村環境改善センター

ご協力いただいたお母さん方と参加者、そして関係人口創出に伴うワークショップに参加して頂いた方を対象に、農業体験をもとに作成した冊子のお披露目や意見交換を行いました。

参加者は、「私たち"ヨソモノ"に対してパリアを張らずにシンプルに接してくれてうれしかった。」と感謝の気持ちを話していました。

お母さん方からは、「いつでもいいから帰っておいで。」と伝えたと話し、再会を楽しみにしていました。

また、活動を振り返り「初めは関係人口という言葉から堅苦しさがあるのかと不安があったが、参加して大変良かった。」との言葉をいただきました。



第1回ワークショップ

開催日：9月28日(土)

会場：レストラン今宿

神林地区で活性化に取り組んでいる団体と神林地区まちづくり協議会が相互に連携する仕組みをつくり、次年度に実施する事業の検討を目的に、ワークショップを開催しました。

コーディネーターとして、都岐沙羅パートナーズセンターの齋藤事務局長に依頼をし、「関係人口」について説明していただきました。

※「関係人口」は、移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人をいいます。地方では、人口減少・高齢化で、担い手が不足していますが、変化を生み出す地域外の方が地域に入り始め、地域づくりの担い手となることが期待されています。



第2回ワークショップ

開催日：12月1日(日)

会場：神林農村環境改善センター

前回のワークショップで出された取り組み案のブラッシュアップを行い、来年度から具体的に取り組む事業の検討をワークショップ形式で行いました。

2回目となる研修会では様々な視点(分野)からの意見が出され、5つの事業案が発表されました。

また、今回はご協力いただいたお母さん方をお招きして感想を伺いました。

「受け入れる前は不安でしたが、とても良い子たちで孫と作業しているように感じ、楽しく交流が出来てうれしかった。」と振り返っていました。



第3回ワークショップ

開催日：12月18日(水)

会場：神林支所

前回のワークショップで出された5つの事業案を、2つ以下に絞り込み、具体的な実施主体や財源、実施時期、実施する際の課題などについて、ワークショップを開催しました。

財源確保については、「受益者負担はあってしかるべき」などの活発な意見が飛び交い、次年度実施する事業の方向性の共通認識を持つことができました。

また、ワークショップ終了後、インスタグラムの操作説明会を開催。講師に地域おこし協力隊の臥牛山隊員と集落支援員の阿部久美子さんにご協力いただき、限られた時間の中で、初期設定からハッシュタグを付けて投稿までの説明をしました。



「Instagram」で神林地区の魅力を「#かみはやし」で発信しませんか

皆さんで、神林地区の魅力的な豊かな自然、美味しい食、観光名所、イベントの情報などを画像や動画で発信しましょう！



平林小学校

10月19日(土)、平林小学校閉校記念式典とコンサート、文化祭が行われ、児童、保護者、地域の父など約250人が参加しました。式典では、か山とともに歩んだ147年の歴史を讃げ、6年生より地域の方への感謝のこぼれが述べられました。来年度からは砂山小学校と統合し、新生「平林小学校」として出発することになります。

また、午後からは、まちづくり協議会主催の交流芋煮会が行われ、各集落で作られた自慢の芋煮が振る舞われました。



砂山小学校

10月26日(土)、砂山小学校閉校記念式典が開催されました。当日はこれまで在任した経験のある先生方や地域からたくさんの方々も参加して大変にぎやかな式典となりました。会場には旧校舎の模型や歴代の卒業アルバムなどが体育館に展示され、また旧友と再会し昔の思い出話したりする光景などが見受けられました。

式典に引き続き開催された閉校記念式レモニーでは、これまでの学校の歴史についてスライドを使って紹介され、また4年生から6年生で構成されるメロ鼓隊の演奏や、砂山健児・作詞・作曲の「ありがとう」という歌を全校児童による合唱披露があり、短い時間ではありましたが、出席者全員にとって心温まる良い思い出となりました。



神納小学校

10月27日(日)、閉校記念式典が行われました。当小学校は明治6年に桃川村に開校。以後、尋常小学校、国民学校など改称を重ね、147年の歴史に幕を下ろすことになりました。式典では、創立者の子孫、佐藤伸郎さん、佐藤守弘さんも来賓として出席され個々の思いを述べられました。

第2部の「児童の発表」では、学校生活の思い出や、会場全体で「栄光の輝橋」を歌い校舎との別れを惜しんでいました。

また、11月10日(日)には、神納小学校の伝統行事でもある、PTA主催の餅つき大会を行います。午後からは「お笑い集団「ナマラ」によるバラエティショー、そして最後には閉校記念事業実行委員会が主催の記念碑のお披露目式が開かれました。



神納東小学校

10月20日(日)、午前中に文化祭、午後からは閉校記念オケストラコンサート、記念撤除式及び閉校記念式典が行われました。

オケストラコンサートでは、全国各地で活動されている新潟ARSNOVA(アルス・ノヴァ)の皆さんが来校されました。

新潟ARSNOVA(アルス・ノヴァ)の皆さんが奏でる演奏は、来校された地域の方たちの心に素敵な音色で響いていきました。

続いて行われた記念撤除式では、学校の教育目標「かしこく、ゆたかにたくましく」と記された立派な記念碑がお披露目されました。

最後に行われた閉校記念式典では、全校児童で「ふるさと」の合唱が行われ、児童の元気な歌声が体育館に響き渡りました。

会場では、感動のあまり涙ぐむ方が多数おられました。





砂小開校記念イルミネーション
期間：1月7日(火)～3月29日(日)
場所：砂小体育館屋外ステージ

令和2年3月で幕を閉じる砂山小学校に対し、これまでの62年間で、ありがたい気持ちを込めて、体育館の屋外ステージに、イルミネーションが飾り付けられました。このイルミネーションは、地域の企業の方々の寄付、砂山地域まちづくり協議会、砂山小学校開校記念事業実行委員会や地域の有志の方々の協力により設置されました。午後4時から午後9時まで点灯しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

また、開校記念事業実行委員会では4月から開校する新平林小学校でも、このイルミネーションを継続して活用してほしいと考えています。



平林集落イルミネーション
期間：11月24日(日)～1月11日(土)
場所：平林集落農村公園

毎年恒例となっているイルミネーション事業に今年度も取り組み、クリスマスや年末年始の時期、沿道を通る方の目を楽しませてくれました。このイルミネーションは、集落センターで約5,000球もの電球を使用し「鶴」の絵を作製し、国道7号線脇農村公園に全長8mもの竹3本を組み、ユニック車を使用し巨大なツリーを立て、周辺には単管を組み電球を飾りつけ点灯したものです。

また、この作製や飾りつけを、区の役員をはじめ、PTAなどの各種団体が協力して行うことで、集落の若い世代から年配世代までの交流・親睦を図ると共に、集落の結束力を内外にアピールしました。



河内集落イルミネーション
期間：12月8日(日)～1月12日(日)
場所：河内集落公園

集落内の公園に、ツリー型のイルミネーションを設置しました。

今年が11回目の設置となり、集落内でも恒例行事となっています。日暮れとともに点灯する鮮やかなイルミネーションと、夜空に煌めく無数の星たちが、集落内を明るく彩っています。

この時期の風物詩となっているイルミネーションは、集落の皆さんやお正月に帰省される方たちを楽しませ、癒しとなっています。

河内集落は、7月中旬から8月上旬までの間、日没からホタルが飛び交う様子を見ることができ、1年を通して楽しむことができる集落です。



小出集落桜ライトアップ
期間：4月15日(月)～4月20日(土)
場所：小出集落公園

集落内の公園に咲き誇る満開の桜のライトアップを行いました。

夜桜を楽しむ集落の人々はもとより、国道290号からも見えるため、通りすがりの方も公園に立ち寄り、楽しむ姿も見受けられました。

集落では、4月21日(日)、公園の環境整備を行い、終了後、お花見交流会を行いました。

心配していた天気も回復し、公園竣工時に植栽し大きく育った満開の桜を眺めながら、交流を深めました。



西神納小学校

11月2日(土)、西神納小学校開校記念式典が開催されました。小学校の歴史と共に、146年という長い歴史に誇りを下ろし、4月からは新しい「神納小学校」としてスタートします。

式典当日は学区の区長や村上市議会議員の皆さま、歴代の校長先生方が来賓として出席され、また地域の方々と卒業生の皆さんが多く出席されました。

式典では、4年生から6年生で構成されるメロディオン鼓隊の演奏や全校児童による児童会の歌の合唱、西神納小学校の歴史を紹介するともに小学校の思い出を映像で振り返り、思いを馳せました。

児童と実行委員会を中心とした催しが多く行われ、出席した地域の方々の笑顔が見られる式典となりました。



神

林中学校開校記念事業

輝かしい未来への幕開け

神林中学校開校記念体育祭

9月7日(土)、神林中学校で開校記念体育祭が行われました。

フエーン現象により猛暑の中での開催となりましたが、その暑さに負けず、生徒たちも熱い気持ちを前面に出し、優勝を目指して競い合いました。

開校後には、開校記念イベントを実施。生徒会スローガン「WA」想像の和から創造の輪へ〜にちなんで、全校生徒と保護者・地域の皆さんで「WA」の人文学を作り、2軍の色(赤・青)の風船400個を大空に向けてバルーンリリースをしました。

このイベントは生徒の皆さんがアイデアを出して実施し、感動的なフナーレとなりました。



まちづくり活性化情報収集事業（神納地域）

7月13日(土)、防災意識と防災力の向上を目的として、長岡市、小千谷市への視察研修を実施しました。最初に、(公社)中越防災安全推進機構が運営する「長岡震災アーカイブセンター」をおくみらい」にて、平成16年に起きた新潟県中越地震の概要や、地震後の地域の状況について説明を受けました。



地域づくりが功を成しているのとこのことでした。

続いて、親子3人が乗った車が大崩落に巻き込まれ、当時2歳だった男の子が92時間ぶりに救出された場所にある「妙見メモリアルパーク（祈りの公園）」、「小千谷震災ミュージアム」を視察しました。参加者は、防災の重要性や地域づくりの大切さなどを学び、とても有意義な1日となりました。



合同防災訓練研修（砂山地域）

11月24日(日)、昨年引き続き砂山小学校の多目的ホールを会場に、砂山地域6集落の自主防災組織役員、民生委員、防災士などによる合同防災訓練研修を実施しました。今年度は第1部として、「防災ゲームクロスロード」というカード型のゲームによる演習を行いました。問題では、「避難者300人に対し、非常食が200食確保し、今後見通しが不利な状況であったら配るか配らないか。」といったジレンマに陥るよ



うな問題を参加者同士で話し合い、情報共有をしながら防災知識を学びました。

第2部では、「飲み出し訓練」ということで村上市神林地区赤十字奉仕団の方に協力をお願いいただき、家庭にあるアイラップでご飯を湯煎して炊く訓練を行いました。命を助けて、旬のキノコを使用した味噌汁を作ってもらい、参加者で喫食しました。参加者からは、とても良い訓練内容だったと感想をいただきました。



神納東ふれあい運動会（神納東地域）

10月14日(月)、体育の日に「神納東ふれあい運動会」を開催しました。台風19号が通過し、屋外での開催を検討しましたが、雨が降りやまず、体育館での開催となりました。今年も玉入れ、綱引きやパン食い競争の他に、防災の要素を取り入れた種目を3種目実施しました。

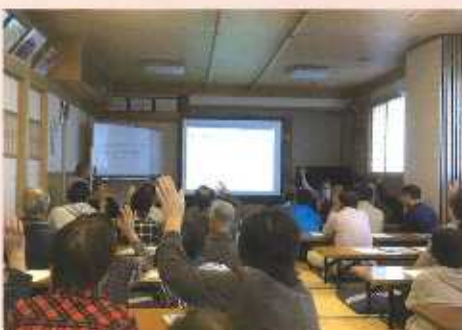


てもらい、防災の知識を周知しました。最後に、「二つ目の新種目「防災〇×クイズ」。問題を村上市防災士会に監修していただき、当日の進行を防災士会に所属している七瀬集落の木村雅人さんに担当していただきました。地域が「一体となり、防災に取り組



防災講習会（南田中集落）

防災訓練時に、災害時の行動について考える必要があるという意見があったことから、10月22日(火)、村上市の「むらかみ出前講座」を利用して開催し、42名の方が参加しました。テーマを「防災から減災へ」と掲げ、座学の他に防災基礎知識クイズを実施しました。自分たちの身に置き換えて考えることで、防災意識の向上を図ることができました。



個人としての防災意識向上だけでなく、自分たちの暮らす地域の特性を踏まえた避難経路や避難場所の再確認など、自主防災会が中心となり、集落としての課題を検討し、災害対策を進めていくことの重要性も認識できた有意義な講習会となりました。





集落課題解決取組(宿田集落)
開催日：6月23日(日)
会場：平林小学校

今年度で閉校を迎える平林小学校の閉校後の活用方法を検討するため、集落住民24名が参加し、校舎見学と意見交換を行いました。

当日は、教頭先生の案内で学校を見学し、相談室で今後の活用方法を議論しました。

当日出された活用案については、消防や土地改良区などの事務所、雨の日でも遊べる施設、避難場所、学習スペース、高齢者と若者が一緒にふれあうスペースなど、従来より出されている活用案と大きな相違はありませんでしたが、今までは他の誰かが考えるのであろうと思っていたことが、地域住民が当事者となって一人称の課題として考える意義ある機会となりました。



お暮場クリーン作戦(砂山地域)
開催日：10月6日(日)
会場：お暮場森林公園

早朝から天候に恵まれ100名を超える参加者に集まっていたいただき、砂山地域の大切な財産である「お暮場」クリーンアップ作業を行いました。

作業終了後、参加した小学生以下の子ども達を対象とした「紙相撲大会」を開催、またその後全員参加のじゃんけん大会を開催し、豪華景品を求めて大いに盛り上がりました。当日、臥牛山隊員にも参加していただき、紙相撲大会の行司の手伝いと特製塩ちゃんこを作ってもらい、参加した皆さんで森林浴をしながらおにぎりと一緒においしくいただきました。

「白砂青松100選」にも選ばれている、このお暮場を地域の皆さんと一緒に、これからも継続して取り組んでいきます。



神納東ふれあい市(神納東地域)
開催日：7月28日(日)
会場：神納東小学校

チラシやフェイスブックを見て開催を知った方、約150人の方々にご来場いただきました。

また、昨年度より5店舗多い11店舗の方にご出店いただきました。

まちづくり協議会で準備したラッキーくじでは、1等「夢の国ペアチケット」を、チラシを見て開催を知り、お父さんと一緒にご来場された小出集落の近明日天(こんあすたか)さんが当選しました。

また、マジックショーでは、村上マジッククラブ所属の「なぎさ」さんが、子どもたちに聞いかけながら一緒にマジックを行い、観ている子ども達からも笑みがこぼれる楽しい時間となりました。



神林地区敬老会
開催日：6月15日(土)
会場：神林総合体育館

神林地区にお住いの75歳以上の方、495人が出席しました。

式典では、77歳、88歳、90歳の歳祝いの方に表彰状と記念品を贈呈し、続いて行われた演芸コーナーでは、みのり保育園の園児、平林小学校の児童などを含む9団体が出演しました。

第1部では、今年度閉校した神林中学校の生徒の皆さんが新歌を披露しました。

第2部では、地区内で活動している演芸団体が出演し、歌や踊りを披露しました。

参加された皆さんは、一年ぶりに会う旧友たちと話をしながら食事をして、楽しいひと時を過ごしました。



松沢集落体験学習(平林地域)
開催日：8月25日(日)
会場：松沢地内

平林地域からも参加者を募り体験学習を開催しました。子どもが木の萌芽再生調査とパインバレー動植物調査、大人が竹細工を使った流しそうめん台作り体験、棒じめ(しめ縄飾り)作り体験や餅(松沢で採れる植物を使った風邪を防ぐ餅やエビを使った餅)作り体験に分かれそれぞれ行ったのち、全員で流しそうめんを行いました。

地域の自然や文化に親しみながら、ふるさとの魅力を再発見し、集落の垣根を越えて交流を深めました。



健康講話(神納地域)
開催日：11月13日(水)
会場：有明集落開発センター

今年で4回目となる健康講話に34名の方が参加しました。今回は「本当はこわい便秘の話」をテーマに、今年も、地元有明集落の鈴木医院の野沢悟先生を講師にお招きして、ご講演をいただきました。

講話では、食べ物と便秘の関係性、柿の食べ過ぎに注意してほしいことや、大腸がんなどについての話がありました。

参加された方からは、「何気なしに生活していたのに、便秘がこんなに怖いとは知りませんでした。」などの感想が寄せられていました。

そして、「これからもいろいろな健康にまつわるテーマで継続していただければ、ありがたい。」など、早くも次回の開催を心待ちにしている感想も多数寄せられていました。



西神納ふるさと夏祭り(西神納地域)
開催日：8月11日(日)
会場：神林農村環境改善センター

今年で4回目となり、地域の行事として定着しつつある夏祭り。今回は恒例の緑日広場を、地元店舗に協力してもらいパワーアップして行いました。穂菜味亭からは焼きそばとたこ焼き、JA養豚部会からは地元産の豚バラ焼肉をそれぞれ出店していただきました。また、みどりカイロプラクティック村上院には出張施術を行っていただき、来場された方の日頃の疲れを癒すことができました。

アトラクションでは、地域おこし協力隊の臥牛山隊員と子どもたちが相撲で対戦し、更に県内外で活躍するパフォーマーpeace(ピース)さんにも出演してもらい、大いに盛り上がりました。



神林地区まちづくり協議会合同研修会
開催日：2月2日(日)
会場：レストラン今宿

神林地区の5つの協議会が共催し、開催をしました。最初に、来年度4月から統合する新平林小学校、新神納小学校とまちづくり協議会との連携について、その後、神林中学校との連携について説明しました。

続いて、関係人口創出・拡大事業について、来年度から5つの協議会と関係する団体と連携して活動していくことを説明しました。

休憩後には、インスタグラムを使った情報発信について、地域おこし協力隊の臥牛山隊員と、集落支援員の阿部久美子さんが講師となり、操作説明を行いました。「#かみはやし」を付けて神林地区の魅力を広く発信する取り組み。最初は数件の投稿でしたが、2月末現在で500件を超える投稿件数となっており、徐々に浸透しています。